

内堀雅雄福島県知事が来村 村民の声を聞き交流しました



懇談した村民と共に。左から3人目が内堀知事。後ろの青い建物は、会場となったトレーラーハウス

5月15日、内堀雅雄福島県知事が村を訪れました。はじめに深谷復興拠点を訪れ、深谷団地に交流の場として設置されているトレーラーハウスで、菅野村長、遠藤教育長らと懇談。村の現状や事業の計画などに耳を傾け、広域自治体として連携とバックアップを継続したいと話しました。また、引き続き行われた村民との懇談では、村での暮らしを話題に、4人の村民と親しく言葉を交わしました。内堀知事は、深谷復興拠点の他、学校エリアも視察し、学校のランチルームで給食を共に味わい、子ども達とも交流しました。

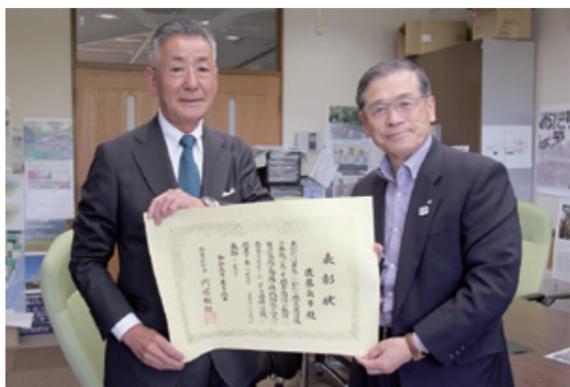
地域福祉の向上に努める 民生児童委員協議会が総会開催



村健康福祉課、村社会福祉協議会も出席して、今年度の事業などについて、情報共有も行いました。

4月19日、交流センター「ふれ愛館」の研修室で、飯館村民生児童委員協議会(松原光年会長／小宮)の総会が開かれました。国の委嘱を受け地域福祉・児童福祉の向上のために活動する民生児童委員は、支援が必要な人の相談相手となり、住民と行政・専門機関をつなぐ役割も担っています。この3月に委嘱を受けた大和田保男さん(八木沢・芦原)、伊藤美智子さん(前田)も合わせて、村の民生児童委員は現在27人。村内の福祉事業にもさまざまな形で協力をいただいています。

佐藤長平さんに知事表彰 地方自治振興への貢献に



村長室での報告の後、表彰状を手にして記念撮影に応じる佐藤さん(左)と菅野村長

佐藤長平さん(宮内)が、5月3日に知事表彰を受け、同16日、村役場で表彰の報告を行いました。佐藤さんは、平成元年9月から平成28年3月まで村議会議員を務め、議長職も4年間担いました。今回の表彰は、その7期26年の永きにわたる地方自治への貢献に対するものです。佐藤さんは、震災直後の議会運営について、「我々の決断がその後の村の運命を左右するという緊張感のもと、課題に向き合っていました」と語り、菅野村長と共に、当時を振り返っていました。

小学5年生が故郷をPR！ 村の花が渋谷公園通りを彩る



高橋日出夫さん(関根・松塚)が育てたペチュニアなどを、関係者と共に、ていねいに植えました

5月4日、「渋谷フラワーフェスティバル」に、草野・飯樋・白石小学校の児童が招かれ、平成28年から「までいライフ」の石碑が置かれている渋谷公園通商店街(東京都渋谷区)の花壇に、村産の花を植えました。児童を招いたのは、までい大使・塚越栄光さんも一員となっている同商店街振興組合。会場にはまでい大使の佐川旭さんや村公式キャラクターのイタネちゃんも応援に駆けつけました。参加した5年生児童は、花壇前での発表や、地域FMへの出演にも挑戦し、村のPRも堂々で行いました。

「余白の旅へ」 俳句とピアノのコンサート



ステージから聴衆に語りかける黛さんら出演者。「村が日本一美しい村となるよう応援を続けます」

5月19日、交流センター「ふれ愛館」で、までい大使を務める俳人の黛まどかさんと、世界的なピアニストのシャニ・ディリュカさんによるコンサート「余白の旅へ」が開催されました。このコンサートは、俳句の朗読とピアノの演奏が共演するというもの。県内外から訪れた約200人が、新たな芸術との出会いに心を奪われたようすでステージを見つめました。黛さんは、自作の句や、被災者から寄せられた句なども朗読。フィナーレには全員で「故郷」を歌う場面もあり、客席では何人もの人が、こみ上げた涙をぬぐっていました。

村の自然の奏でる音色が ピアノととけ合うコンサート



風景の映像と共にピアノを演奏する守時さん。心揺さぶる旋律に、聴衆は耳を澄ませて聞き入りました

ピアニスト・守時タツミさんのコンサート「景色の見える音楽会」が、5月11日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。守時さんが飯館村でコンサートを開くのは、一昨年に続いて2回目です。コンサートでは、飯館村で録音したひぐらしの声や木々のざわめきなど、自然の音とピアノを融合させた癒しの音楽が演奏され、集まった約50人の村民らは美しい音に包まれて、癒しのひとときを過ごしていました。